

# KAIHAN KRIPPENDORF

Leading Expert on Growth and Strategy

LONDON  
SPEAKER  
BUREAU



Kaihanはビジネス戦略、成長、変革の基調講演者のトップであり、何十万人もの人々に刺激を与え、意欲を高め、未来に勝つために必要なツールと考え方を提供してきました。

Kaihan Krippendorffは、急速に変化する破壊的な技術変化の今日の時代に、組織と個人が繁栄するのを支援することに尽力しています。カイハンは、難しい概念をわかりやすいアイデアに変え、意味のある成果と行動を生み出す能力で知られています。彼は国際的に認められた思想的リーダーであり、戦いでテストされたコンサルタントであり、戦略、成長、変革のトピックについて人気の高い基調講演者です。

## Topics

- Business
- Innovation
- Strategy
- Transformation

カイハンは、マッキンゼー・アンド・カンパニーの戦略コンサルタントとしてキャリアをスタートさせ、その後成長戦略およびイノベーション・コンサルティング会社のアウトシンカーを設立しました。Outthinkerを通じて作成された成長戦略とイノベーションは、無数の組織、チーム、個人に活気を与え、世界で最も有名なFortune 500企業の多くに25億ドルを超える収益を生み出しています。

熟練した著者であるKaihanは、ビジネス戦略、成長、変革に関する4冊の本を執筆しており、最近では競争を考え抜いています。John Wiley & Sonsの彼の近刊の本「Driving Innovation From Within: A Guide for Internal Entrepreneurs」Columbia University Press 2019年では、カイハンは、考えられるほぼすべての業界の150人を超える社内のイノベーターとリーダーを深く調査し、インタビューしました。

Kaihanは、2019年リーダーグループの有名なThinkers50 Classのメンバーです。来年、フォローして耳を傾けるトップ30の経営思想家のグローバルセレクションです。このグループは「研究者、アドバイザー、起業家、組織リーダーの夢のチーム」と呼ばれ、人々や組織にアイデアを「興味を起こさせ、刺激し、導く」。

KaihanはOutthinker Networkを設立しました。これは、大規模なグローバル組織のためのハイレベルなストラテジストとイノベーターのグループです。四半期ごとの円卓会議は、上級管理職が親密で率直で前向きな会話を行う、ピアプロフェッショナルのネットワークや、世界で最も求められている破壊的な思想家であるRita Gunther McGrath、John Hagel、George Dayとのユニークな機会です。とりわけ、カイハンによって促進される四半期ごとの会議は、彼をソートリーダーと組織のリーダーの両方と結び付け、どの問題が最も関連性があり、企業が破壊の脅威に取り組み、征服し、デジタル時代の変革を管理することができるかについての洞察を提供します。

基調講演、コンサルティングプロジェクト、進行中の研究と執筆の彼の目まぐるしいスケジュールの中で、カイハンはウォートンエグゼクティブエデュケーション、フロリダインターナショナルユニバーシティの教員、パーソンズスクールオブデザインの教師、ビジネススクールの講師のコンサルタントになる時間を見つけています。米国全体および国際的に。彼は、BusinessWeek、Harvard Business Review、Forbes、Time、Fox Business、Fast Company、PBS、Bloomberg Radioなどの

主要なビジネスメディアで定期的に取り上げられています。

Kaihanは、ブロックチェーン駆動の輸送プラットフォーム、国際的な食品加工/輸出会社、持続可能な製品とライフスタイルに焦点を合わせたB社の顧問委員会メンバーです。

コロンビアビジネススクールとロンドンビジネススクールでMBAを取得し、ウォートンビジネススクールで金融学士号を取得し、ペンシルベニア大学で機械工学の理学士号を取得しています。経済学の博士号を取得しています。

バングラデシュ出身の母親とドイツ出身の父親を持つカイハンは、彼が行うすべてのことに対して、包括的で多様性のあるグローバルな視点をもたらします。彼の仕事は彼を世界中の58カ国に連れてきました。彼は3つの言語を話し、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ、ヨーロッパ、太平洋地域でかなりの時間を過ごしました。彼はコネチカット州グリニッジに妻と3人の子供とともに住んでいます。